

特定非営利活動法人
岐阜環境カウンセラー協議会
会報 Vol. 23
2018年7月17日発行



この美しい自然を守ることが、**人類を救う!!**

目次・概要

- 「人類を救う!! を、ミッションとする人もいる」 2P

岐阜環境カウンセラー協議会 理事長 堀江 孝男
梅雨時期を迎え、又、暑い夏が来るのだらうと思っていた6月初旬の早朝、テレビニュースは、「地球温暖化ガス発生量が、過去最高の409.5ppmを記録した!!」と報じていた。そんな中、発刊された新書(「2022年の次世代自動車産業」著 田中 道和 PHP ビジネス新書)の中ほどに記されていた「或る男性のミッション」に驚き、目を見張った。

- 「第19回 大垣市環境市民フェスティバル」で
環境保全の重要性を呼びかけました! 6P

テーマ『暮らしを変えて 未来に夢を』

岐阜環境カウンセラー協議会 副理事長 矢野 民雄
当ブースのテーマは、①環境カウンセラーの広報活動、②エコアクション21の広報活動、③「親と子のみず環境読本」、④エネルギー面白グッズの展示、の4テーマでした。エネルギー面白グッズ展示場所では、子供だけでなく大人も興味深々。

- 岐阜のマチュピチュ天空の茶畑 8P

岐阜環境カウンセラー協議会 理事 鈴木 敬彦
実際に見ると写真よりはるかに迫力があり、お奨めポイントです。比較的身近なところに、こんな場所があったとは驚きですが、不思議な地図にない道路の驚きも一つ。

「人類を救う !! を、ミッションとする人もいる」

岐阜環境カウンセラー協議会 理事長 堀江 孝男

梅雨時期を迎え、又、暑い夏が来るのだろうと思っていた 6 月初旬の早朝、テレビニュースは、「地球温暖化ガス発生量が、過去最高の 409.5ppm を記録した!!」と報じていた(気象庁は、岩手県大船渡市三陸町綾里と沖縄県の与那国島、小笠原諸島の南鳥島の 3 か所で二酸化炭素の観測を続けている)。この 3 ヶ所の去年 1 年間の二酸化炭素の平均濃度は、与那国島で 409.5ppm、大船渡市三陸町綾里で 409.2ppm、南鳥島で 407.7ppm、一昨年に比べて凡そ 2 ppm 増加し、何れも過去最高値であった。国連の IPCC「気候変動に関する政府間パネル」は、今世紀末の気温上昇を 2°C未滿 に抑えるための目安を、世界の平均で 420ppm 程度としているが、国内の観測点では観測開始以来、毎年 2 ppm 前後の上昇が続いており、この傾向が続くと後 10 年ほどで目安を超える可能性がある、と伝えていた。一方、気象庁は「二酸化炭素の平均濃度は、増加する傾向が続いていて歯止めがかからない状況だ、二酸化炭素排出の大幅な削減に向けた対策を更に進める必要がある」と話しているが、現実を見据えたドラスチックな対策を誰も言い出さない、、、 何とも苛正しく、産業革命前の「二酸化炭素発生量」を 280 ppm 程度とすれば 1.5 倍であり、このまま推移すれば、下に示される写真の如くこの地球は生物の生きることが出来ない場所になりそうだと思う、、、 と、よからぬことを夢想する朝であった。

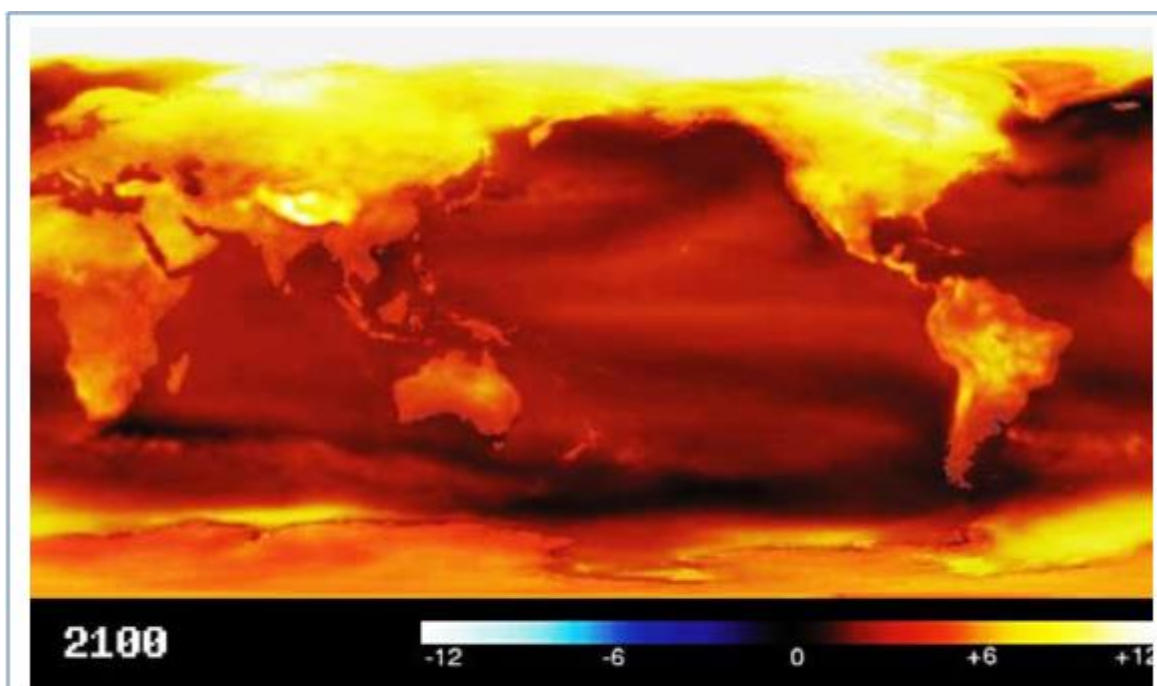


図-1 「2100 年頃の年平均地表気温上昇量の分布」 (1900 年を基準の地理分布)
(シュミレーションされた 2071~2100 年の平均地表気温上昇量)

敢えて追記すると「2006 年 10 月に発表された英国、のスターン・レポートでは、温室効果ガス排出量削減の対応を怠った場合、2035 年にその濃度は産業革命以前の倍となり、世界の平均気温は 2°C以上に上昇すると指摘し、温室効果ガス(CO₂)を 450~550 ppm のレベルに抑えれば最悪の影響は減少すると報告している。

そんな、何とも憂鬱なニュースを見た 6月初旬に、発刊された新書(「2022 年の次世代自動車産業」著 田中 道和 PHP ビジネス新書)の中ほどに記されていた「或る男性のミッション」に驚き、目を見張ったのである。

些か唐突であり、加えて極めてドラスチックでもある、そして個人として、ここまで 思い込み、そしてやり遂げることが出来るものか、と驚嘆し、その主張と生き方に感銘を受けながら読み終えたので、その一端を紹介する。

その男性の名前は「イーロン・マスク(47 歳)」、今、EV車で世界中を席卷している「テスラ社のCEO」である。米国のシリコンバレーを拠点に、創業から僅か 15 年で EV(電気自動車)業界の寵児となった人物であり、フォーブス誌によると「世界で最も革新的な企業 2016」の 1 位に選ばれるほどのイノベータでもある。

そのテスラ社の業績は、売上規模からフォード社の 1567 億ドル、GM 社の 1455 億ドルに対し、テスラ社は 117 億ドルに留まり(2017 年 12 月決算数値)、これだけを見れば「未だ、老舗メーカー強し」の感もするが、しかし、時価総額では一変し、フォード社 438 億ドル、GM 社 527 億ドルに対し、2010 年に上場したばかりのテスラ社 505 億ドル(いずれも 2018 年 4 月時点)であり、更に簿記上の自己資産に対する時価総額の倍率を示す PBR はテスラ社 11.9 倍、フォード社 1.2 倍 GM 社 1.5 倍なのである。単純に世界を走る車のシェアのみを見れば、テスラ社の EV 車の数は業界全体に、大きな影響を与える様なものではないが、しかしテスラ社は単に売り上げや販売台数だけでは語ることでできない部分によって、業界の秩序をひっくり返して見せたが、この事実からテスラ社という会社の革新性と、市場からの期待感の大きさが判ると云うものである



写真-1 テスラ社最新型 EV 車「モデル 3」

そのテスラ社の CEO(Chief Executive Officer) :最高経営責任者)である、イーロン・マスク氏は「電気自動車の年間販売台数を一億台にする」と宣言をしているが、只、ここで彼は「テスラ社の車を一億台に、」とは言っていない処に、イーロン・マスク氏の類まれなる人物像を物語っているのである。

彼は米国のペンシルバニア大学で、物理学と経済学を学び学位を得たのち、スタンフォード大学大学院に進み、人類の将来に最も大きな影響を与える課題はインターネット、クリーンエネルギー、宇宙開発の三つと結論付け、その後、弟とソフトウェア制作会社立ち上げ「IT 成功者」となるも、それで終わらず、その会社を売却した 170 億円もの個人資産で、2002 年に「民間宇宙企業:スペース X」を設立したのである。「IT 企業家が何故ロケット開発を?」、彼は、「人類を火星に移住させたい為に、」と創業 6 年目にして宇宙ロケット「ファルコン I」に成功し、それ以後も次々と新型ロケットの打ち上げを成功させ、2018 年の今年には「テスラの超高級 EV 車 ロードスター」を積んで火星軌道に打ち上げている。

何のために「火星に人を、」、彼の考えは「地球人口は既に 70 億人を超え(74.77 億人)環境破壊が進み、石油資源も枯渇しようとしているなか、人類がこのまま地球に留まるならば滅亡は免れない、」、人は荒唐無稽と笑う中、彼は真剣に取り組んだのである。

そして、「火星に人が行けるまでには時間が未だ掛かり、地球滅亡をスローダウンするために、排気ガスの撒き散らすガソリン車に替わる EV 車の開発をしよう」と「テスラ 社の CEO になった」と云うのである。その彼のミッションは、唯一「**人類の救済**」に 尽きると自ら語り、その為に企業収益を全て開発につき込み奮戦中なのである。更に驚くべきは、テスラ社の研究陣による EV 車開発に関する知見は、全て公開し、このことに拠って「**EV 市場が活性化し人類救済が果たされるのであれば、ノウハウを無償で提供するべきだ**」と云ってのけ、前述した「テスラ社の車を一億台に、」とは言っていない処の、深い意味が理解されるのである。

2017 年にドナルド・トランプ大統領のもとで、大統領戦略政策フォーラムのメンバー になったが、トランプがパリ協定離脱を表明したため、即 6 月に辞任した。自らの生き様(ミッション)を「人類を救済する」とし、自らの事業において全てをその ミッションに傾注し、自らの信念を貫く為にはあらゆる権力にも屈しない姿勢は、実に明快であり、見事としか言いようがない。アメリカにはこの様な素晴らしい人が居られるものだ、深い感銘を感じつつ読んだ のである。

只、現在の「テスラ社」は生産現場でのトラブルが相続き厳しい状況が続いていると、新聞テレビは伝えているが、必ず立ち直るものと信じたい。

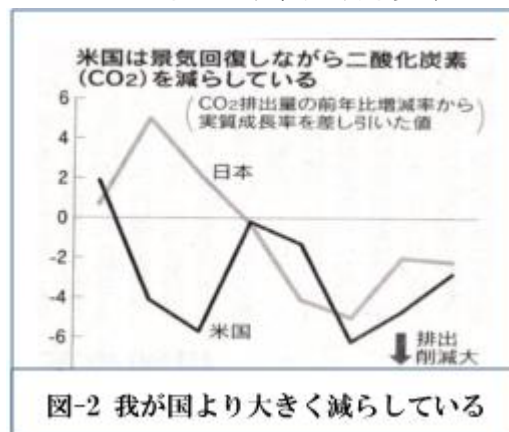


そんな中の 6 月中旬、テスラ社の暗いムードが吹っ飛ばすような明るいニュースが飛び 込んできた。「シカゴ市と空港を結ぶ新交通システム、マスク氏の企業が建設へ!!」イーロン・マスク氏が経営するボーリング・カンパニーは、米イリノイ州シカゴ市と国際空港を高速で 結ぶ、新しい公共交通システムを建設すると、シカゴ市が発表で明らかにしたと云うの である。新交通システムの「シカゴ・エクスプレス・ループ」は、バッテリー駆動式 の車両に乘客を乗せて、時速約 240 キロの速度でトンネル内を走行。シカゴ市中心部 とオヘア国際空港を 12 分で結ぶ。これは現在の交通機関に比べて 3~4 倍の速さになると云われ、その車両は「電気スケート」と呼ばれ、テスラの SUV 「モデル X」をベースとして、8~16 人乗りの車両や 1 人乗りの車両が設計されている (2018.06.15)。

飽くまでも彼は、唯一「**人類の救済**」のミッションに向かって突き進んでいる様だ。本書の章題にも、この人「イーロン・マスク氏」を「天才か、鬼才か、独裁者か」と問う項もあり、「毀誉褒貶(きよほうへん)」の誹りを受けてもおられる様だが、「前例がない」とか「業績効果を訝う」様な、スタンスしか持ち負わせない、今の多くの人々には思いもつかず、実践も覚束ないことであり、この人の凄さが伝わってくる。

一方、又、何とも嬉しい記事が新聞に踊っていた(平成 30 年 6 月 9 日 日本経済新聞)。

「米国はパリ協定を離脱しても CO₂ は削減しており、実は環境先進国」と記している。6 月 8~9 日の G7(主要 7 ヶ国首脳会議)で、トランプ氏は再び「パリ協定離脱」を叫び 各国首脳から糾弾されたが、図-2 に示



される様に、米国内の温暖化ガス排出量は確実に減らしており、「親は無くても子は育つ」ことを証明している。

それは「テスラ社」を含めた先進企業の努力の賜物であり、「RE100」と云う、世界の名だたる企業が多数参画する国際コンソーシアムに起因し、各企業の事業運営を100%再生エネルギーで賄うことを云い、地球環境を意識した対策を意図する活動である。米国内の参加企業は31社程の様で、サステナビリティ戦略だけでなく、経費削減にも繋がっていると云われている。

IT企業はアップル、グーグル、フェイスブック、マイクロソフト、又、スターバックス、大規模小売店のウォルマート、日用消費財メーカーのP&G、自動車会社のゼネラルモーターズ等が参加しているが、これらの多様な業種に渡る米国企業に共通するものは、全ての事業運営を100%再生可能エネルギーで賄うという「RE100(再エネ100%)」の目標を持ち、積極的に再エネを導入しているという点であり、再エネ導入は企業の社会的責任の一部としての温暖化問題への対策だけではなく、太陽光発電や風力は運転に燃料費が不要であるため、化石燃料のコスト変動・高騰を回避し、自社の電力コストを安定させ、更に削減することができるという。全世界では現在101社の企業が果敢に取り組んでおり、トランプ大統領の云い放つ愚かしい「パリ協定離脱の表明」とは裏腹に、心ある民間企業者の前向きな「地球温暖化対策」によって、米国は確実に「CO₂排出量は削減しつつあり、今や環境先進国である」と新聞は記していた。我が国では唯一(株)リコーが挑戦されており、使用電力を2030年までに30%、2050年までに100%再生可能エネルギーで賄うということを宣言されている。

この新書と新聞を読み思うことは、人は「学び、思いつき、考える」ことから、生き方・使命(ミッション)を決めるのであろうが、多くの人が陥る「前例がない」とか「業績効果を訝う」様な現実を覆し、今、この時代に唯一先駆けて行うことは何か、、、の結論を、純粋に「**人類を救う**」というミッションに全てを賭けた、「イーロン・マスク氏」と、彼を包み込むアメリカという国は、一人を除いて誠に大したものだと思う。

新刊書「2022年の次世代自動車産業」を読み終え、再度あの章を読み返し、心に深く刻みたいと思っていた6月中旬に、またまた「イーロン・マスクの世代(著 兼松雄一郎)」なる新刊書が発刊された。大胆な構想と冷酷な判断で、テスラ社やスペースXなどを率いる希代の企業家であるマスク氏、彼の影響は今や単に自動車や宇宙産業だけに留まらずトンネル掘削、はては脳とコンピュータの接続技術まで踏み込み、既存業界の概念を破壊し革新を生む新たな潮流を創出する、イノベーション教の教祖の様に扱われだしたと記している。それを「**人類を救う**」へと繋ぐミッション達成のためと記されると、再度の驚きと強い感銘と共に、深い「溜め息」を誘い、色々と考えさせられる梅雨の日々であった。



「第19回 大垣市環境市民フェスティバル」で

環境保全の重要性を呼びかけました！

テーマ『暮らしを変えて 未来に夢を』

岐阜環境カウンセラー協議会 副理事長 矢野 民雄

6月16日（日）ソフトピアジャパンセンタービル及びその付近（大垣市）において開催されました。大垣地域で環境活動を展開している企業、団体、学校、個人等で環境に配慮し同フェスティバルの趣旨に賛同し、実行委員会が適当と認められた延べ54が出展していました。お天気にも恵まれ訪問者は延べ5,000名（主催者発表）と環境問題に興味を持つ多くの方々の訪問でした。

広い会場は、エコライフゾーン、スローフードゾーン、エネルギーゾーン、水と緑のゾーン、3Rゾーンの五つのテーマに沿って分けられていました。当協議会も例年出展していましたが、本年も準備が整いましたので出展しました。

当ブースのテーマは、①環境カウンセラーの広報活動、②エコアクション21の広報活動、③「親と子のみず環境読本」、④エネルギー面白グッズの展示、の4テーマでした。先ず、ブース訪問者への呼び込みから始めて年齢によって興味のありそうなテーマを聞き出し、ブースへ案内しながら話を広げていくパターンをとりました。

大人は、右の写真のブースへ ➡

＜地球温暖化防止活動の今＞

- ・ 二酸化炭素排出の影響は
- ・ エコアクション21の説明
- ・ 環境カウンセラーの役割
- ・ 今、あなたは何を心配していますか



面白グッズ展示場所では、

驚く子供の顔が・・・

男子の後期高齢者と称する訪問客の一人、
「子供にとって、このような経験は大切、将来、
学校で科学に関する勉強をするとき、ここで経験したことが、必ず役に立つ。」
とおっしゃっておいりました。

← 子供は、左の写真のブースへ

＜面白グッズ展示場所へ案内＞

- ・ 光を当てると走るソーラーバッタ
- ・ 光をあてると回る風車
- ・ スイッチで変わる熱と冷の媒体
- ・ 猫風船を膨らませる発電機への挑戦

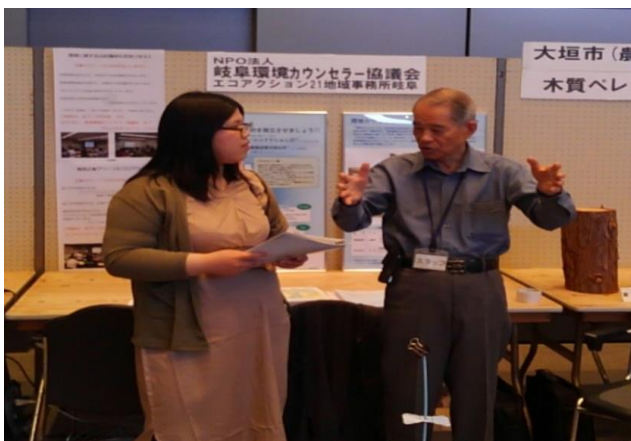
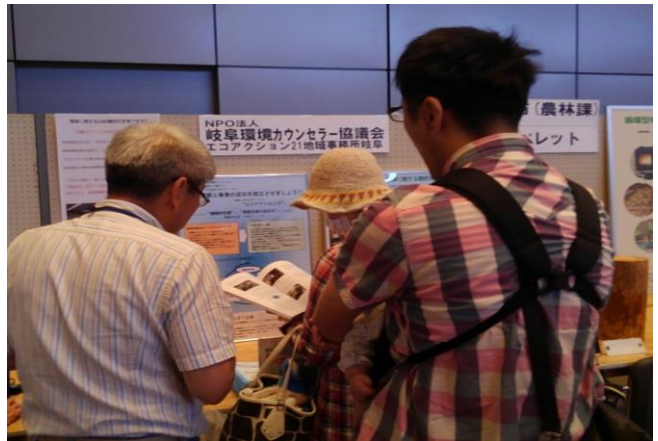


<出展を終えての感想>

1. 一昨年までは、テーマは①②③でしたので一般市民の方には興味を持ってもらえなかった。昨年度から④の面白グッズを追加したのが子供たちにヒットし大盛況でした。今年度も同様に展示し大盛況でした。このグッズは会員の持ち物で手作りですが良くできています。ソーラーを当てると動き出す様は、大人も興味を持って子供達と一緒に楽しんでいました。この触れ合いのなかでの会話には、
 - ・このような工作はどこで体験できるのですか、もしやれたら子供たちは大喜びですが
 - ・ソーラーバッタはどこで手に入れるのですか、買いたいのですが。
 - ・電気のスイッチ切替だけで熱くなったり冷たくなったりするのですか（ペルティエ効果）
2. こうやって子連れ親子で子供が遊んでいる間、親をNPOのブースへ案内。
 - ・主婦には③「親と子のみず環境読本」で、家庭からきれいな水を流すことの重要性を説明し冊子を提供した。

3. 単独訪問者で興味深気にパネルを見ている女性に声をかけた。教師志望の女子大生であった。地球温暖化防止活動の重要性に興味を持ち卒論にも取り上げたく思っているとのことでした。我々環境カウンセラーの役割等を説明し理解を得た。

他の説明者によれば、同じような男子大学生も当ブースで足を止め、環境カウンセラーとエコアクション21に興味を持ち、質問があったという。同じゼミに所属する学生かもしれません。



将来の環境カウンセラーを2名確保した
と知っている・・・。

4. 看板とパンフレットを並べ、親子連れの訪問者がブースの前をただ通り過ぎる姿を見ているだけで、やるすべがなく空しい出展を長い間繰り返してきました。今回は会員4人の方に、ブースでの対応をしていただきましたが、食事の時間もなかなか取れないほどの大忙しでした。前回と今回を通して、まずは興味を持っていただく事、そこから環境問題に入ることの重要性を痛感しました。

岐阜のマチュピチュ天空の茶畑

住所：岐阜県揖斐郡揖斐川町春日六合

岐阜環境カウンセラー協議会 理事 鈴木 敬彦

テレビを見て知った岐阜のマチュピチュ天空の茶畑、今年の4月、妻と訪れてみました。

車で池田町方面から県道32号線を西に進み、車のナビに従い県道をそれて右側の上り坂道（右の地図）に入って20分程で登り口の駐車場に到着しました。



登り口では、地元のボランティアの方が説明をしてくれます。駐車料金等は無料ですが、募金箱が設置されていて、志程度を差し入れて遊歩道に向かいました（写真下）。



しばらくならかな遊歩道を歩くと、Aコース、Bコースといった看板が現れる（写真左）。Bコースはいわば登山道で、予め地元の案内人の方からAコースがおすすめと聞いていたのでAコースを選択。ところが、途中から急な坂に急変。三角形の斜辺で登るか、他の二辺で登るかの違いで、位置のエネルギーの差は同じ、案

内板がそれを上手く図にしていることに後で気が付きました。三角形の垂直な一辺の上り坂では、日ごろの運動不足が祟り息も絶え絶えで登ること約20分、第1の絶景ポイントによりやく到着。まさに天空に浮いたような茶畑（写真次ページ）が目の前に迫り、圧巻でした。第2の絶景ポイントは、更にこの上にあると聞きましたが、既にエネルギーを使い果たし、絶景は十分に堪能できたのでここで下山。実際に見ると写真よりはるかに迫力があり、お奨めポイントです。



お茶は無農薬・有機栽培で手摘みのお茶として、代々続いてきたと聞きました。

茶葉を摘み取るので普通茶の木には実がつきません。放置された茶畑では実が付き、先のテレビで、脱サラして、このようなお茶の実を有効に活用し、オイルを作っている方が紹介されていたのですが、当日は残念ながら東京へお出かけでご不在でした。

天空の茶畑を後にして、県道 32 号線に戻り、特に目的もなく、更に西に進んでみたところ、関ヶ原方面に抜ける道路標識を目にしました。しかし、車のナビには貫通する道路は表示されません。道路標識を信用して坂道を走ること約 1 時間、峠付近でバイクに乗ったカップルに出会い、尋ねたら、やはりこの道路は地図にはないと言い、私達と同様に関ヶ原方面に抜けるつもりという。同類がいることに勇気を得て前進し、道路は思いのほかよく整備され、関ヶ原付近に抜けることができました。後で google の地図を見て、伊吹山の東にある地図上では途中で切れている県道 257 号線ではないかと思えます。山越えの途中、人を警戒せず、何を思っかたぼけた顔でこちらを見ている鹿の親子との出会いもあり（写真右上）、身近なところで感激と冒険の一日を満喫しました。



<p>・特定非営利活動法人 岐阜環境カウンセラー協議会 住所：〒500-8289 岐阜市須賀 1-1-5 サンメッセビル 3B 電話：058 - 272 - 0408 FAX：058 - 272 - 0408 E-mail：gifu-ec@nifty.com URL：http://www.gifu-ec.jp 窓口担当者：鈴木 敬彦 事務局長</p>	<p>・エコアクション 21 地域事務局ぎふ 住所：〒500-8289 岐阜市須賀 1-1-5 サンメッセビル 3B 電話：058 - 272 - 0408 FAX：058 - 272 - 0408 E-mail：エコアクション21gifu@nifty.com URL：http://www.gifu-ec.jp 窓口担当者：小倉 竹治郎 事務局長 加藤 邦夫 事務局次長</p>
---	---